

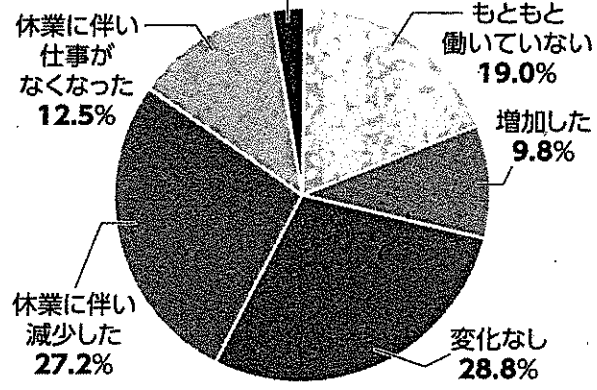
大学院生の 研究・生活実態

全院協アンケートから

大学院生に対するコロナの影響は、
全国大学院生協議会の
アンケートで収入が「減

コロナ禍による労働状況の変化

解雇により仕事なくなった 2.6%



収入に影響 過半数

「収入に影響がなかった」は43・3%、「無収入になった」は10・3%で、過半数が影響を受けています。仕事がなく
なるなど42・6%が労働状況に影響がありました。(グラフ)

支出では、49%が「緊急の支出が発生した」と答え、うち4人に1人が「5万円以上の支出」。

支出先(複数回答)では、「オンライン機器の購入」58・4%、「資料・書籍の購入」49・6%と続き、大学施設の利用制限に伴って支出が増加しています。

しかし、利用可能な国の支援制度のうち、貸与型の「緊急・応急採用奨学金」に申請した人は3・9%。アンケートの報告書は、「コロナ禍の緊急的な経済状況の悪化においても、将来の負担となるような貸与型ではなく給付型の奨学金が必要である」と指摘しています。

(随時紹介)